



THE OGURA TIMES

港区と区議会をもっと身近に

2017.04 港区政レポート Vol.8

平成29年第1回定例会において登壇し、区長・教育長に質問いたしました

第1回定例会 一般質問 (一部抜粋)

★ 港区が進める地域包括ケアシステムにおいて、在宅医療・在宅介護は定期往診に加えて24時間診療体制が整うことが重要。大規模病院に頼ることなく、地域で24時間診療が行える体制を行政主導で整備すべき。

⇒ 高齢者が一時的に入院を必要とする場合、対応できる病床を区内2病院に確保する。24時間訪問診療の体制はまだ課題があるが、地域の医療関係者と協議をしていく。



地域包括ケアシステム：

高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、地域が支え合う社会システム



平成29年2月、港区議会本会議場にて

★ 区役所職員の適材適所への配置、適正な数の人員配置が必要。人員が不足している部門があるのではないか。どのような考え方で職員配置を行っているのか？

⇒ 組織改善による効果やICT活用による業務の効率化など、考慮した配置を行っている。安全・安心の確保や、子育て支援の重点課題の部門には優先的に人員を配置している。

★ 国際学級と同じくらい、日本語学級も重要。区立小・中学校における日本語指導を充実させるための課題は？

⇒ 昨年秋に日本語需要について初めて調査を行ったところ、今後日本語指導が必要な外国籍や帰国児童・生徒が100名を超えることがわかった。小学校の日本語学級の拡大や、中学校で新たな設置について検討する。東京都にも教員配置について協議していく。

がん患者アピアランス助成が始まります！

★ 区議会の中で誰よりも早くアピアランス支援について取り上げ、行政による制度整備の後押しをしてきました。医療用ウィッグや胸部補正具への購入費用助成が4月から始まり、上限3万円（または購入費用の70%の低い額）まで助成されます。

東京都で初めてののがん患者アピアランス支援助成であると同時に、外見に関する相談窓口も区内2病院で開設され、今後も充実した体制が期待されます。もちろん男性もご利用いただけます。



詳しくは
みなとアピアランスサポート
(www.app-sup.com)

みなと保健所 健康推進課
(03-6400-0050)

平成29年度 予算特別委員会報告 (一部抜粋)

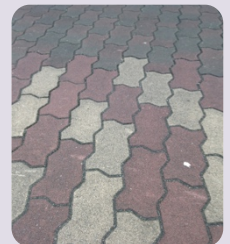


やさしい日本語は簡単な単語や言い回しを用いた、在住外国人への情報提供手段のひとつです。英語より日本語の理解が深い在住外国人が多いことから『やさしい日本語』の導入を提案したところ、来年度より採用・展開をしていただけることになりました。

⇒ 防災関連情報、生活情報、地域活動に参加するきっかけとなるイベント情報のホームページやパンフレットなどから発信していく。『やさしい日本語』を英語、韓国語、中国語に続いて4番目の言語として位置付け、職員向けにもマニュアルを整備する。

インターロッキングブロック舗装を採用した歩道が増えていますが、デザインや色彩に関して港区内で統一したルールがありません。道路工事ごとにデザインが異なり、地域全体のまとまりがないことを指摘しました。

⇒ 景観への影響が大きく、控えめな色彩やデザインを基本としたい。今後は景観アドバイザーの意見も聞きながら統一感を持たせられるようなルールを定める。



体験型観光のような、『買う』『見る』以外の誘導を行政主導でもっと積極的に行うべきと考えています。特に個人旅行やリピーターに人気がある美容サロンや銭湯などを観光戦略に盛り込むことで、まずは美容・理容という地域産業から今後の産業支援の新しいあり方を作っていくのではないかとという質問に対し、とても前向きな答えをいただきました。

⇒ 『コト消費』と言われる体験型観光は、観光客の誘致や消費だけではなく外国人に日本文化や生活習慣を理解してもらえる良い機会。観光分野での連携や協働を深めていけると考える。

プレミアムの付かない**一般区内共通商品券**の認知度を高めて、商店街各店舗に広く使われやすくすることも商店街支援のひとつと考えています。港区政策創造研究所による商店街実態調査結果を踏まえ、客観的な策を講じていく必要があります。また、2月末から全国で開始されたプレミアムフライデーの消費傾向をみつつ、地元商店街で・お近くの商店街でとPRするとともに、商品券のPRもすることを提案しました。



⇒ 一般商品券の認知度を高めていくことは重要。付加価値をつけるにはコストや事務手続きなど新たな負担の課題があるが、今後も認知度を高める方策を考えていく。港区商店街連合会や各商店会の意見も聞きながら、区内商店街の消費を促すための効果的な策を検討する。

買い物
するなら
地元の
商店街で

小倉りえこ プロフィール

東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
総務常任委員会 議会運営委員会

- 港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒
- 米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
- バイオベンチャー・製薬企業において、リウマチ、がん、線維筋痛症などの医薬品研究開発に従事
- 平成27年4月の改選で初当選。1期目スタート。

ご意見・お声をお寄せください

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601

〒106-0045 港区麻布十番1-8-7 三幸園ビル

Tel/Fax 03-3455-6208

<http://ogura-rieko.com>